

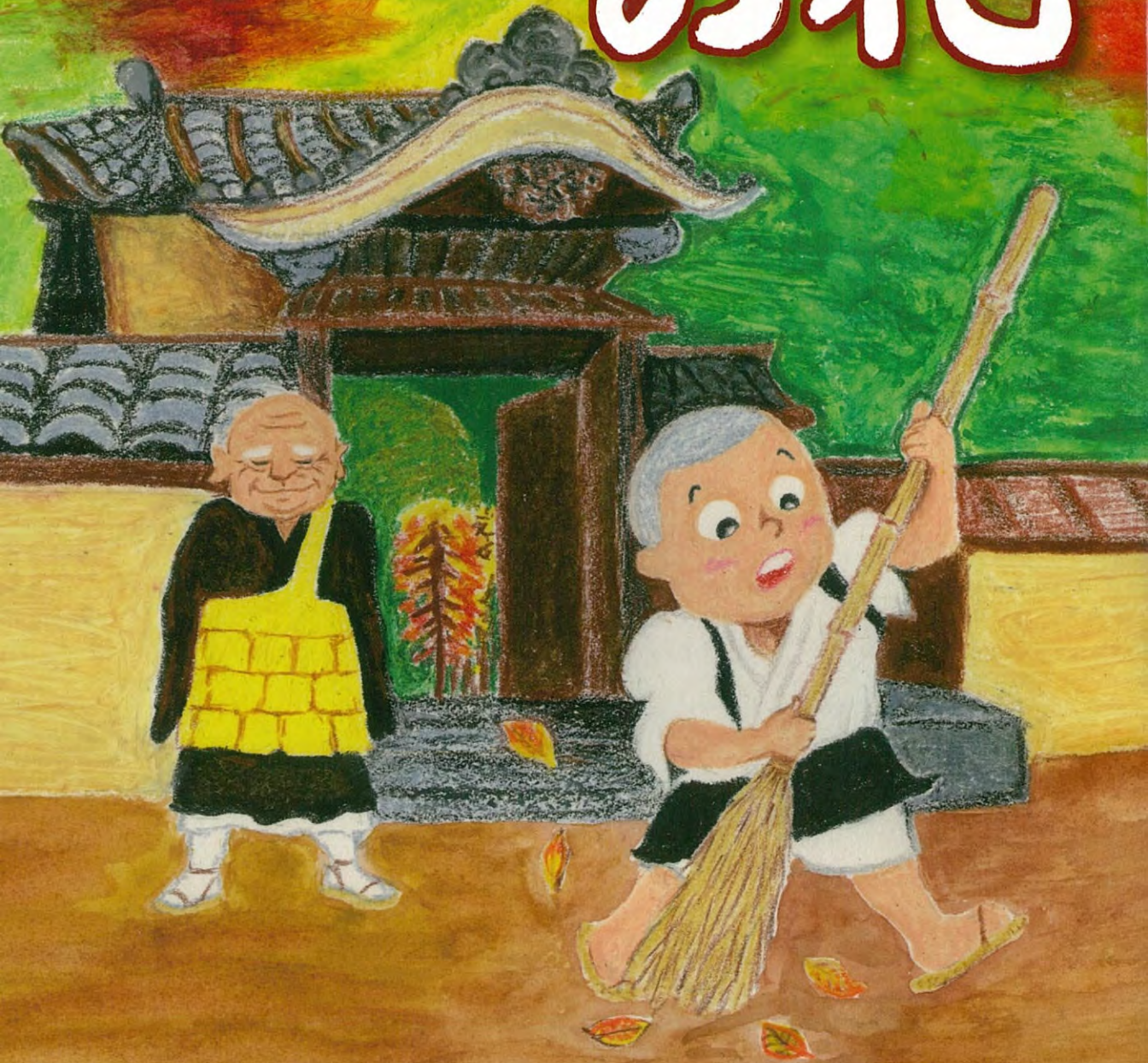


子供たちに伝えたい美しい日本語

石井式 育み文庫

絵／くにいともあき
題字／楽書家・岐葉

三枚のお札



むかしむかし、あるお寺に

和尚さんと小僧さんが住んでいた。

ある日、小僧さんが言った。

「和尚様、山へ栗拾いに行きたいのです。」

すると、和尚さんは、

「駄目だ駄目だ。あの山には
恐ろしい山姥が出るんだ。」

お前なんか簡単に

食べられてしまうぞ。」

和尚さん



お札

和尚

山姥



しかし、

小僧さんが何度も何度も頼むので、

和尚さんはしぶしぶ許すことにした。

そして三枚のお札を渡しながら言った。

「困った時にはこのお札に

お願いをするんだぞ。」

小僧さん

お札



小僧さんが山で栗を拾っていると
日が暮れてしまった。

すると優しそうなお婆さんが現れて、
「困っているなら泊まっておいき。
拾った栗を茹でてあげよう。」

茹でる

お婆さんの家で
栗をたらふく食べた小僧さんは
うとうとしてしまった。

栗

ふと気付くと
お婆さんがシャカーシャカーと
包丁を研いでいる。

研ぐ
旨い

「小僧は旨いぞ、ひっひっひっ。
焼いて食おうか、煮て食おうか、ひっひっひっ。」
「や、山姥だ。」

小僧さんはつい声に出してしまった。
するとお婆さんの顔が、恐ろしい山姥になった。
「見くらなく。」